

## バイオテクノロジー標準化支援協会ジャーナル NO.004

発行日     2008年1月30日  
URL        <http://www.sabsnpo.org>

---

このメールジャーナルは今までは SABSNNPO 内部向けのものでしたが、今回、以降、ひょっとして。少しでも興味を持っていただけるかも知れない方々にも配信を始めることになりました。受信をしたくないと思われる方々は恐れ入りますが、その旨、下記 メールあて先にお知らせください。

### 1) “今日の話題は昨日の続き、今日の続きはまた明日” -その3

- \* 1 先日、日本規格協会の賀詞交換会がありました。  
規格協会は大いに発展中のようですが、バイオテクノロジーの存在感はさらに減少中のようです。
- \* 2 10年以上も前から警告していましたが、ここに来てやっと日本の新聞でも気がつき始めたようです。次の記事がそれです。しかし、こんなことを指摘しても何の進歩にもなりませんし、将来誰がこの領域の担当をするのか依然として不明です。いろいろの、所謂、戦略委員会が出来てきていますが、この領域の戦略担当は、日本では誰になるのでしょうか？ 私たちの NPO で策定して、具申先を探すほかにないように思います。



\* 3 2008 年度には社員の皆様方の担当範囲を決めたいと思っています。つぎのジャーナルで、一応その表を公表したいと思っています。出来ればその領域を予め指示して頂けるとありがたく存じます。

## 2) e—Library

博士論文関係の CD-ROM は 5 編となります(このうち 2 つはノーベル賞学者のものです。積極的のこの領域の出版を続けたいと思っています。

このような e—library を作るという企てはいろいろのところで進みつつあるようです。1 つには、国立国会図書館に関連して、近代デジタルライブラリー (<http://kindai.ndl.jp>) があって、著作権消滅の各種の書籍がダウンロードできるようになっています。しかし、

博士論文に関するものはなさそうです。最近、聞いた噂話では慶応大学の情報センターが **google** と提携して始動を始めているということですが、詳細は分かりません。何方かご存知の方はお知らせください。

### 3) **Link**

最近、1つだけリンクを入れてみました、このリンクしたホームページは医学関係のものですが、非常によく出来ていて、私たちのホームページが見劣りしますが、これも経験のためと思っています。これからリンク先を増やしていく予定です。一方、英語の **Version** を早く作りたと思っています。何方かやってやろうと名乗りを挙げて頂くと有難いのですが。

\*\*\*\*\*

奥山 典生

東京都立大学名誉教授

(株) プロテイン テクノス インスティテュート

t&f 045-981-9455

E-mail ① [protein-tech-inst@g01.itscom.net](mailto:protein-tech-inst@g01.itscom.net)

② [OkuyamaTsu99@aol.com](mailto:OkuyamaTsu99@aol.com)

\*\*\*\*\*